

年度 2008 学期前期	曜日・校時 木 1	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 Comprehensive English			
対象年次 1年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等) D16・17			科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:山口敦子/研究室:非常勤講師室/長崎純心大学/TEL:095(846)0084 /オフィスアワー:授業終了時				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 日本でも親しまれている英米の短編小説やエッセイを原文で読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目標とする。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景とともに生きた英語を味わっていく。本年度はイギリスの代表的な探偵小説、シャーロック・ホームズシリーズの中の1編、『まだらの紐』をテキストとして取り上げる。作者コナン・ドイルはもともと医師としてのキャリアを持つ作家であり、その文体には鋭い論理性と美しい明晰さがある。きちんと本文を読み、正確に和訳することによって、ある程度の難易度をもつ英文を読む力を身につける。 授業方法: 毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み和訳を発表する。最後にビデオを鑑賞することで、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。 授業到達目標: 論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなす力を付ける。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回テキスト『まだらの紐(The Speckled Band)』に沿って、和訳とリスニングを中心に本文を約3頁読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。最後にその日学んだ箇所をビデオで視聴する。 第1回 イン트로ダクション 第2回 早朝の訪問者1 第3回 早朝の訪問者2 第4回 早朝の訪問者3 第5回 真夜中の口笛1 第6回 真夜中の口笛2 第7回 真夜中の口笛3 第8回 怪力の男 第9回 ストーク・モラン屋敷1 第10回 ストーク・モラン屋敷2 第11回 調査開始1 第12回 調査開始2 第13回 寝ずの番 第14回 事件の真相 第15回 授業のまとめと定期試験				
キーワード				
教科書・教材・参考書	『まだらの紐・最後の事件』(The Speckled Band and The Final Problem)			
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況 20% 期末試験 80%			
受講要件(履修条件)	予習をもって授業に臨むこと			
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				